

7・16代々木公園へ!

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

2012年6月28日

No.36

Tel 03-3651-4861

mail_cn001@zengakuren.jp

http://www.zengakuren.jp/

6/29首相官邸前に10万人結集を②

6月29日18時
首相官邸前集合

どうもお疲れ様です。山本太郎と申します。

凄い人じゃないですか。40数名から始まったこの集まりがとうとう今日、2万人を超えているらしいです。3万人を超えているらしいです。すごいです。こんな忙しい週末のこの時間帯、これだけの人が集まるということは、本当はもっとたくさんの人が集まりたかったはずですよ。ここにある声を聞き取れないならば、即刻退場するべきだ。

野田の命もあと少し!

野田首相、僕いま日本が最悪の事態になった場合、海外に移住しなければいけないかもしれないと悩んでいま



す。まじめに生きている一市民が移住を決意しなければならない状況ってどんな国だ。

何一つ安全性が担保されていない原発を動かして、本当は全て廃炉にするはずだろう。それでもまだ動かそうとするなら、たった一握りの人たちのためだけじゃないですか。

野田さん。僕が移住を決意してしまうような世の中にしないで下さい。野田さんには、フィリピンの素晴らしい島々をご紹介しますので、是非

そちらのほうでごゆっくりお休み下さい。

再稼働反対! ありがとうございます。(6月22日の首相官邸前での発言より引用)



6/22野田への怒りで45000人が首相官邸前に結集!



7・16 さようなら原発 10万人集会

再稼働阻止! 被曝労働反対! すべての原発いましてなくそう!

◆7月16日(月・祝) 13時～

◆東京・代々木公園にて

※12時半からオープニング・コンサート、13時半からデモ出発
※会場へは、JR原宿駅より徒歩5分、同渋谷駅より徒歩10分

【呼びかけ】さようなら原発1000万人アクション

<内橋克人、大江健三郎、落合恵子、鎌田慧、坂本龍一、

澤地久枝、瀬戸内寂聴、辻井喬、鶴見俊輔>

6万人が集まった昨年9月19日の反原発集会(明治公園)



キャンパスから7・16集会へ！

●東洋大学からの報告

7・16十万人集会に向かって東洋大から行動を開始しました。6月22日には史上空前の4万5千人の人々が再稼働反対で首相官邸前を包囲しました。この息吹をキャンパスへ持ち込み、クラス討論やサークル回りを行いました。

クラス討論では「原発再稼働反対で4万5千人の人々が立ち上がっています。学生も立ち上がるときだ」と訴えビラをまくと、多くの学生がビラを受け取ってくれます。学生は4万5千人の動きに大注目しています。他の学生にもビラを手渡したり、真剣に読んでくれたりしている学生もいました。

サークル員との議論も盛り上がっています。いくつかのサークル員はこちらの訴えを聞いて意見を出してくれます。「ニュースで見ました」という学生。さらに、サークル内で話し合って、サークルとして7・16集会に行こうかと考えてくれたサークル員もいます。

メッセージを書いてくれるサークル員もありました。ある学生は「10万人集めたことが実を結んでくれれば何よりです」と書いてくれました。

さらに、浜岡原発のある静岡出身の学生も「原発に関しては無いのであれば無いほうがいいと思



ドイツの環境団体「エテコン」が東電に「ブラックプラネット賞」（地球を汚したで賞）を授与するため来日。27日の株主総会にも出席。

います。しかし、今現在無くすというのは少しきびしいと思います。新たなエネルギー源を見出していくか、他の発電所を今以上に動かさなければいけないのではないかという心配があるからです」とメッセージを書いてくれました。彼は、経済構造への影響を気にして心情的には反対したいが、なくしたら困るのではないかという意見を持っていました。同時に原発立地県だからこそ過去のスリーマイルやチェルノブイリ原発事故のことについて調べるなどして原発についてよく考えている学生でした。

他にも「不足する電力を代替手段が確立するまでにどの様に確保するか」、「「反原発と言っても明確に見えない」と私たちが掲示したビラを見た学生も意見を書いてくれました。

このように学生たちの間で議論が巻き起こっています。学生ははっきりと意思表示していないだけで、一人ひとりよく考えています。このような学生とさらに議論を巻き起こし、7・16十万人集会へ東洋大から行動を起こしていきます。

（東洋大・K）



23日、NAZEN杉並結成集会が165人の参加でかちとられる。集会では再稼働阻止・原発廃炉へ、どこまでも福島と具体的に結びついて団結と連帯をどんどん広げること、職場・地域で闘って被曝労働と対決するホンモノの運動をつくろうと呼びかけられた。